

一般質問



あだち はつお
足立 初雄 議員

問 監視・補修活動に資金援助を

答 十分検討していく

全国の鳥獣被害額は、鳥ではカラス、獣類では鹿が1番である。

本町では、イノシシの被害が1番多く、その対策として、侵入防護柵の設置が行われた。

今後の対策を問う。

平成27年度から行われた、イノシシ防護柵の設置状況と効果の把握は。

【答】環境経済部長 防護柵の総延長16.5km、総事業費1439万円で、町の東側の山すそに設置。被害額が255万円減少。

【問】地元からの情報や要望の把握は。

【答】田畑や柵の近くに餌付けとなる生ごみを捨てないよう啓発、侵入防止柵の資機材提供。

【問】柵の見回りなど、監視や補修の対策は。

【答】地元で見回り、防護柵の下部に侵入防止柵を敷

き対処。

【問】監視・補修活動に対する資金援助の考えは。

【答】防護柵、アンカ、結束線など無償提供する。

【問】各地区に見回り監視など資金援助も必要になり、十分検討していく。

【答】防護柵の内側にいるイノシシの駆除対策は、安全面に配慮し捕獲お



イノシシ捕獲用おり

問 町民に親しまれる町史の刊行を

答 アニメなどのデジタル版で

土記など15種類。販売はどこで。また、どのように活用されているか。

【答】幸田町史は中央公民館と郷土資料館、地域史はそれぞれの公民館。地域学習などの参考資料に活用。

【問】今後の編集計画は。

【答】40年以上経過し、新しく編さんし直す時期。

【問】多くの町民に親しまれ、活用される町史の刊行を。

【答】(町長) 学術書などを漫画で見られる機会が多くなり、新たな町史は、アニメや写真など入ったわかりやすいダイジェスト版の発行を考えている。

【問】いつ迄に作るか、早く行動を。

【答】取り組みを進めていく。

昭和56年に発行された大草昭和風土記に「知ることには愛することにつながる、郷土愛も先祖への敬愛の情もここに根差し……」とある。

【問】愛すべき幸田町を知るため、幸田町史の編集を問う。

【答】(教育部長) 幸田・豊坂村史、幸田町史、鷺田風

一般質問



いけだ ひさお
池田 久男 議員

問 消防本部のテラス化とは

答 24時間専門的な人がいる体制

前進継続、町長は、前町長から引継ぎ「幸せ町づくり」を着実に実行していくことを決意され、人こそが将来へとつながる大切な財産である。安心安全なまちづくりを問う。

問 岡崎市との指令センター共同運用が1カ月経過した。成果と問題点は、

答 **消防長** 町から4人が出向し、職員間の意思疎通もでき、受信対応できている。問題はない。

問 消防本部の24時間安心テラス化とは。

答 **町長** 消防本部の元指令室を利用して、消防職員の任務やボランティアでもなく、24時間、安全安心を見守っていく専門的な人がいる体制。

問 専門性、知識が必要であるが人員体制は、

答 消防職員OB・警察・教員など資格を持っている方を防災ネットワークとして、実践的な予防防災が学べる機能としたい。

問 先を見越した、住民防災会議の考えは、

答 いろいろな地域の中で防災を考える仕組みを強化、啓発していく。

問 住民広場の設置を

答 必要性含め設置に向け進める

地域のコミュニケーション、スポーツの場所として安全で安心して過ごせる場所が住民広場である。設置の考えは。

問 本町の住民広場の設置地域と数は、

答 **住民こども部長** 幸田学区で3カ所、中央学区で1カ所、荻谷学区で1カ所、深溝学区で2カ所、豊坂学区で4カ所である。

問 いこの場として活用し、活性化の一助となっている。設置理由は、

答 地域住民の健康増進、住民相互の連帯感の育成を目標と定め、小学校、保育園、広場なども考え、地元などの要望に基づき設置している。

問 具体的な対策は、

答 各行政区、各学区を含め、現段階では充足しているとの認識。

問 設置に向けての考えは、

答 必要性なども含め、今後、設置に向けて進めていきたい。



テラス化が予定されている消防本部